行政視察報告

史跡地活用調査研究特別委員会　日程：令和７年１月20日～21日

●史跡斎宮跡の活用について／三重県明和町（１月20日）

昭和53年に、三重県と明和町で「斎宮跡の保存にかかる業務分担について」の覚書を締結され、協力して事業を推進されています。また、史跡を理解するために必要な各施設を史跡内に仮設されています。

本市も市単独ではなく、県や国と協力して事業を推進していく必要性を感じました。また、本市も史跡地に施設を仮設できれば、史跡地を理解しやすく、新たな観光スポット創造につながると考えます。

●藤原宮跡花園植栽事業の取り組みについて／奈良県橿原市（１月21日）

藤原宮跡に所在する自治会から藤原宮跡の活用や景観保全に対して、意欲的に参加したいとの申し入れがあり、地元自治会と協議を重ね、「藤原宮跡整備協力委員会」が組織され、植栽事業が継続されていました。今後は、関係自治会だけではなく、広く一般市民の参加を募ることも検討されているようでした。

本市でも水城跡エリア、大宰府政庁跡エリア、観世音寺周辺エリアなどにおいて、ゾーニングした季節の植栽計画を策定すると、観光の回遊ルート創造につながると考えます。

橿原市

議会運営委員会　日程：令和７年１月27日～28日

●議会の活性化と議会改革について/京都府福知山市（１月27日）

議会基本条例に基づき①情報公開の推進、②市民参加の推進、③議会の機能強化（議会の活性化）について、具体的な事例等を交えながら、活動状況を伺ってきました。例えば情報公開の推進について、議長・副議長・各委員会の委員長及び副委員長選出の際は志す者による所信表明会が実施されています。議会の機能強化としては「議会政策検討会議」を設けて、政策提言や政策立案に努めてありました。

●議会改革、開かれた議会への取組について/兵庫県加西市（１月28日）

「市民との意見交換会」を平成22年度から年２回開催し、これまでに24回開催されています。開催形式は第１部で議会報告会を行い、第２部で市民の関心の高いテーマをあらかじめ設け、グループワーク方式で意見交換会を実施されています。また主権者教育として「加西子ども議会」を令和６年11月に開催し、児童が主体的に政治に参画する意欲の醸成を図られている事例など視察してきました。

加西市

市議会議員 人権・同和問題研修報告

日にち：令和７年２月12日
演　題：「太宰府市部落差別の解消の推進に関する条例」について
解　説：人権政策課長

本市議会は、「太宰府市人権・同和問題啓発推進会」構成33団体の中の一つであり、毎年、自主研修会を実施しています。

今回の研修では、全国で先駆けて自治体独自の部落差別解消推進条例を施行した、兵庫県たつの市の事例についてDVDを視聴したあと、人権政策課長より、令和２年12月に「太宰府市部落差別解消推進条例」が制定された背景や当時の状況についての講話を受け、意見交換を行いました。

本市におきましても、差別のない社会に向けて、より一層啓発および教育を行い、部落差別の解消を進めていく必要があります。